

会則改正（案）

理事の定数増に関する提案

2011年3月19日に日本臨床教育学会の設立から約10年が経過し、設立年度に約260名だった会員数も、今では400人を超える。学会の日常的な研究活動である課題研究部会や年次大会などの諸活動を、今後さらに充実させるため、会員数に見合う理事定数への検討を行い、専門領域や世代、地域などの幅を広げられればと考える。

なお、学会設立時の理事定数(※)は10名であり、会員総数の約4%であった。それを現在の会員総数400名に照らし合わせれば、理事定数は計算上16名程度となる。よって、このたび理事定数を16名程度に増やすことができないか、ご審議頂きたい。

また、専門領域などの幅を広げることを目的として、選挙で選ばれた役員候補者の合議により、必要に応じて専門分野等を考慮し若干名の理事を加えられるような体制を検討している。この二点について、総会でのご審議をお願いしたい。

(※) ここでの「理事定数」は会長候補及び理事の合計を意味する。

日本臨床教育学会 会則（現行）※ 改正部分は下線赤字で表記

（役員）

第9条 本学会の役員は、会長1名、理事9名、及び監査2名とする。

日本臨床教育学会 会則（改正案）

（役員）

第9条 本学会の役員は、会長1名、理事15名、及び監査2名とする。なお、必要に応じて若干名の理事を推薦で加えることができる。詳細は別に定める。

日本臨床教育学会役員選挙規程（現行）※ 改正部分は下線赤字で表記

（投票方法）

第10条 選挙権を有する会員は、被選挙権を有する会員の中から会長および理事にふさわしいと思われる者について、11名以内の連記で、委員会から送付された投票用紙および返信用封筒を用いて投票する。

（当選者確定のための手続き）

第12条 得票順位1位から11位の者を役員候補者とする。

2 前項の候補者が得票同数等のために11名を超えて存在する場合の順位は、得票同数者の互選とし、互選での合意ができない場合は委員会による抽選とする。

第13条 11名の役員候補者の互選により会長1名および理事10名を決定する。

日本臨床教育学会役員選挙規程（改正案）※ 改正部分は下線で表記

（投票方法）

第10条 選挙権を有する会員は、被選挙権を有する会員の中から会長および理事にふさわしいと思われる者について、16名以内の連記で、委員会から送付された投票用紙および返信用封筒を用いて投票する。

（当選者確定のための手続き）

第12条 得票順位1位から16位の者を投票による役員候補者とする。

2 前項の候補者が得票同数等のために16名を超えて存在する場合の順位は、得票同数者の互選とし、互選での合意ができない場合は委員会による抽選とする。

第13条 役員候補者の互選により会長1名および理事15名を決定する。なお、役員候補者の合議により、必要に応じて専門分野等を考慮し若干名の理事を加えることができる。